

大学進学について考えよう

昨年度の卒業生 346 名のうち、進学した生徒は 117 名 (33.8%)、その中で 4 年制大学への進学は 44 名でした。(国立大学 2 名 (2 名とも鹿児島大学)、公立大学 2 名、私立大学 40 名) 今年度は 64 名が 4 年制大学を希望しており、すでに合格が決まった生徒が 50 名です (12/9 現在)。近年大学入試制度も多様化しており、自分の希望する大学にはどのような入試形態があるのか、自分はどの受験方法で受験するのがよいのかを知ることがとても重要です。そこで今回は大学入試について考えてみます。

■入試形態

○一般入試

各大学の指定する科目の試験を受けます。国公立大学では大学入学共通テストが課されます。近年では私立大学でも大学入学共通テストを課す大学も増えています。ほぼ学力検査の成績で合否が決まり、専門高校枠はありません。受験科目の単位数が多い普通科の生徒と同じ条件で受験をするので、普通教科の高い学力が必要です。

○総合型選抜

以前は A0 入試と呼ばれていた形態です。試験内容は大学によってそれぞれ異なりますが、書類審査やプレゼンテーションで大学入学後の目標等を問われます。受験する学校の学部や学科を志望する理由・目的がより明確でなければなりません。筆記試験を課す大学もあります。高校からの推薦は必要ありません。

○学校推薦型選抜

どの学校からも受験できる公募制と、大学側が指定する高校からしか受験できない指定校制があり、試験内容は大学によってそれぞれ異なります。国公立大学には指定校推薦はありません。また、学校推薦型選抜 I と II があり、II では大学入学共通テストが課せられます。専門高校枠がある学科・学部もありますが、小論文や口頭試問では高度な知識も必要になってきます。数学、物理、英語等の筆記試験を課す大学も多くあります。高校からの推薦が必要です。

■受験対策

上記したように、大学入学共通テストを含め各学科試験では、普通教科の高度な知識が問われ、本校のカリキュラムにない科目を課される場合もあります。主に受験科目となる教科の入試対策を各教科の先生に聞いてみました。

○数学

- ① a は定数とする。2 次関数 $y = x^2 - 2ax + a$ ($0 \leq x \leq 2$) について、最大値と最小値を求めよ。
- ② 2 次関数 $y = x^2 - (a-1)x + a+2$ のグラフが、 x 軸の正の部分と異なる 2 点で交わる時、定数 a の値の範囲を求めよ。

2 つの問題を解くためには、グラフをかいたり、判別式の利用、場合分けをするなど授業で扱わない内容も含まれ難易度が高い問題である。この他にも 2 次関数に関する難解な問題がたくさんある。国公立大学への進学を考えている人は、問題集を購入し、分野ごとに解き進め、高い学力を身につける必要がある。

○物理

- ・ 大学入試で「物理」が必要と表記されている場合、それは本校の授業の「物理基礎」とは全く異なる科目である。
- ・ 「物理」が受験科目として必要な場合、別途新たに学習をする必要がある。
- ・ 「物理」は読解力と計算力の両方が求められる科目。特に大学入学共通テストはさらに読解力が求められるようになったので、本を読まない生徒にはかなり難易度が高い。
- ・ 最近の5年間は、3年生になってからすぐに、受験に向けての個別指導を開始している。
- ・ 1, 2年生のうち「物理基礎」を完璧と言えるくらいにその学習に取り組むことが大切。

○英語

大学入学共通テストをはじめ、筆記試験ではかなりの語彙力が必要だが、逆に言えば語彙力があれば少なくとも英文の内容は理解できるということである。英単語・熟語は短期間では覚えられないので、とにかく早い時期からの取り組みが大事だ。長い時間をかけてコツコツとやる必要がある。

Failure to pay bills on time may result () additional fee.

(A) in (B) for (C) on (D) with (E) to * 語彙力

My sister Jon, () good luck never ends, just won a million dollars.

(A) which (B) for which (C) whose (D) whom (E) what * 文法 (関係詞)

長文に使われている単語の例

competition / punish / stolen / neighbor / perform / addition / consider / pretend など
(九州産業大学過去問より抜粋)

○小論文

意見を論理的に書く文章として小論文があります。小論文は読んだ人が納得できるように筋道を立てて書く必要があります。ここでは、小論文を書く上での2つの注意点を挙げます。

①感想と意見の違い

物事の好き嫌い、思ったことをそのまま述べただけでは感想にすぎず意見とは呼べません。賛成なのか反対なのか、問いかけに対してどう答えるのかなどを理由をはっきり示して述べることで感想ではなく意見と呼べるものになります。

②理由と根拠

意見について「なぜそう考えるのか」が理由です。意見の「根拠」ともいいます。一般に、理由には自分の気持ちや考え、体験なども含まれますが、根拠という、より客観性が求められる傾向があります。

上記のことに注意して、大学入試に対応するためには、今、世間で話題になり議論されていることを知っているということが大前提になります。新聞や専門書を読み、時代のトピックスに対して常にアンテナを張って自分のものにしておいてください。

■まとめ

大学入試は学力との兼ね合いが一番なので、簡単に志望校を決めることはできないかもしれませんが、上記したように各大学でいろいろな入試形態があるので、それらを調べ把握することがとても大事になってきます。希望する大学の入試科目を徹底的に勉強しなければ合格につながらないからです。特に大学進学を目指す2年生は、学習時間を増やし、真剣な取り組みを始めてください。

また、この4月から大学に進学する3年生は入学までの期間、大学から出されている課題等でしっかりと学習に励んでください。勉強以外でも様々なことを身につけることができる4年間は楽しいものになるようにしてください。